

みんなのた場



お針子サークル

情報交換しながら
楽しくお裁縫

手先を巧みに動かし、布が
らさまざまなものを縫い上
げていく「お針子サークル」
は、雄勝公民館で毎月第1、
3木曜日の午後から活動し
ています。細かく手を動かす
ことで、脳の活性化にもつな
がっており、製作を楽しんで
います。

震災後に復興支援で開
かれた「お針子ワークショップ」
がきっかけとなり、有志
が集まって平成27年に活動
を始めました。当初は雄勝
町のオーリングハウスを拠
点としていましたが、復興
事業で整備された雄勝硯伝

統産業会館へと移り、現在
は雄勝公民館が拠点です。
50〜70代の8人が所属し、
着物や洋服の端布を活用し
て花や猫、さるぼぼなどさ
まざまな裁縫を楽しんでい
ます。

代表の阿部由美子さんは
「始めてから6年ほどにな
りました。文化祭など発表
の場もあり、目標に向かって
みんなで製作を進めていくの
が楽しいです」と話していま
した。

とても面白く、皆さんに教わ
りながら技術を学んでいま
す」と語っていました。裁縫
は一人でもできますが、サー
クルならではの魅力は情報
交換。技術的なことだけでは
なく、浜の日常や普段の仕
事、家事の話など、和気あい
あいと会話を弾ませながら
作業を進めています。

年に1度ある地域の文化
祭では、全員で大きな作品
を製作するため、個々でパー
ツを作っていきます。布を交
換し合えるのもサークル活
動ならではの魅力といえるで
しょう。

鈴木節子さんは「雄勝で
活動していることを知り、3
年前に参加しました。手仕
事は楽しく、日常とは違う
サークルの雰囲気も大好き」
とにこやか。サークルでは、
見学も大歓迎。一緒にお針
子の魅力を楽しんでみませ
んか。問合せは阿部代表(☎
090-7322-7268)まで。



お針子サークルの皆さん



和気あいあいと教えあいながら楽しんでいます

ささえあいセンター通信 ⑧

在宅医療・在宅介護に関する市民講座

市では出前講座や研修会などを通して地域包括ケアの普及・啓発を行っています。今回は、今年度開催した市民講座について紹介します。

第1回「訪問診療の利用・内容について」

とき 10月13日 参加者 34人
講師 市包括ケアセンター所長

在宅医療と訪問診療の違いや訪問診療導入までの流れについて説明がありました。また、市立病院における訪問診療実績や対応例について講話がありました。



第2回「訪問看護の利用・内容について」

とき 11月30日 参加者 44人
講師 訪問看護ステーション所長

訪問看護の役割やサービスの内容、利用までの流れや費用などのお話がありました。



第3回「在宅介護の利用・内容について」

とき 12月14日 参加者 33人
講師 地域包括支援センター所長

在宅介護の利用方法や内容について、寸劇を交えながらお話がありました。



図 包括ケア推進室(ささえあいセンター内) ☎25-6659



120

「文化財防火デー」の始まりについて

石巻市教育委員会生涯学習課

最近では、沖縄県の首里城における大火災のことを記憶されている方も多いと思います。

昭和24年1月26日に、

世界最古の木造建造物である法隆寺の金堂が炎上し、貴重な壁画が焼け落ちてしまい、当時、世間に強い衝撃を与えました。

このことから、火災などの災害による文化財の危機感が高まり、文化財保護への法律として「文化財保護法」が制定され



文化財防火訓練

ることになりました。その後、その火災の日と、冬場が最も火災が発生し

やすい季節であることから、毎年、1月26日を「文化財防火デー」と定め、

文化財をさまざまに災害から守るための文化財防火運動を全国で行い、国民の文化財愛護に関する意識の高揚を図っています。

者、文化財所有者、そして地域住民が連携・協力して防火訓練を実施しており、本年度は、2月に実施することとしていました。が、新型コロナウイルス感染症の状況を考慮し、残念ながら中止となりました。春は風も強くなり、火災が多くなる季節でもあります。また本年度は、東日本大震災から11年目を迎える春でもあります。長年の、さまざまな災害に耐えて遺されてきたものであるからこそ貴重な「文化財」と言えるのであり、私たちは、それを国民共有の財産として末永く保存していく必要があるのです。

Topic of town

まちの話題



みんなで鬼退治!

市内各所で豆まき会

邪気を払って一年の無病息災を願う「節分」。それにちなんで、市内の各所で豆まき行事が開かれました。1月18日に桃生子育て支援センターで親子の「豆まき会」、2月2日には北上こども園、同3日には大川保育所でそれぞれ豆まき会があり、豆まきの歌を歌ったり、先生たちの扮する鬼を撃退したりと行事を楽しみました。



桃生

北上



河北



石巻 街づくりの方向性共有

市長、自治会長らに講演

石巻市長の街づくりに関する講演会が1月27日、マルホンまきあーとテラスで開かれました。昨年4月に就任した齋藤市長の考え方を聞きたいと、旧市町の地域力向上を目指す石巻市地域連携会議と石巻市町内会連合会が要望し、自治会長や自治会役員など約120人が参加しました。齋藤市長は新型コロナ対策など6つの柱を示しながら、「皆さまと手を取り合って誇れる街、石巻を築いていきたい」と語りました。



鉄路駆ける石ノ森キャラクター

4代目マンガタンライナー

4代目となる「マンガタンライナー」が1月19日、仙台駅と石巻駅を結ぶ仙石東北ラインに登場しました。今回の車両は「夢」と「風」をテーマに「サイボーグ009」や「仮面ライダー」「がんばれロボコン」など石ノ森章太郎氏のキャラクターをデザインしています。すでに運行が開始されていますので、皆さんもぜひチェックしてみてください。



©石森プロ

雄勝 家内安全や大漁願う獅子

羽坂地区で恒例春祈とう

雄勝町羽坂地区では、恒例の春祈とうと獅子振りが1月2日に羽坂コミュニティセンターで行われました。石神社の千葉秀司宮司が神事を執り行い、永沼利幸地区会長らが玉串を奉納。その後、黄金の獅子が舞を披露して、集まった地域住民20人の厄を払いました。



石が積み上げた歴史と文化

雄勝硯伝統産業会館「おがつの石」展

石材の歴史や文化をひも解く企画展「おがつの石」が1月15～30日、雄勝硯伝統産業会館で開かれました。培われてきた加工技術に触れ、職人たちの足跡や東日本大震災からの復興、雄勝石を使った硯やスレートなどさまざまな加工品が紹介され、石とともに歩んできた地域を深く掘り下げました。



河南 ビニールバレーで楽しく

和 کوچکクラブが活動

和渕小学校体育館で1月13日、今年初めての和 کوچکクラブの活動が行われました。1～3年生が、放課後に安心して過ごせる場を河南地域住民自治協議会(佐々木洋会長)が運営しています。この日は、児童24人が班に分かれ、自治協の皆さんと一緒にビニールバレーボールに汗を流しました。慣れてくるとラリーが続く、子どもたちは口々に「楽しかった」と喜んでいました。



北上 十三浜のワカメ 格安で提供

飛び入りで活カレイも登場

北上町十三浜地区でとれた生ワカメの即売会が1月30日～2月20日までの毎週日曜日、北上観光物産交流センターで開かれました。水揚げされたばかりの新鮮なワカメを市価の3割引きで量り売り。地元漁業者による活カレイの販売も飛び入りで行われるなど、漁業者自らが十三浜の魅力を発信していました。

